

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室
 担当者 : 認証標準物質担当
 電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2020年2月28日

改正日 : 2020年6月16日

整理番号 : 8158001

化学品の名称(製品名) : 標準物質 NMIJ RM 8158-a
 ラマン分光光度計用ポリスチレン
 (Polystyrene for Raman Spectrometer)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は ISO 17034:2016 および ISO/IEC 17025:2017 に適合するマネジメントシステムに基づき生産されたポリスチレンディスクであり、ラマン分光光度計のラマンシフト校正および妥当性確認に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。
 本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030 に定められるもの）である。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 非該当
 GHSラベル要素 : 非該当
 注意喚起語 : 非該当
 危険有害性情報 : 非該当
 その他の有害性情報 : 非該当
 注意書き : [安全対策]
 非該当
 [応急措置]
 非該当
 [保管]
 遮光し、15℃から25℃で清浄な場所にアルミラミネート袋に封入したまま保存すること。
 [廃棄]
 関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学名又は一般名	: ラマン分光光度計用ポリスチレン
成分	: ポリスチレン
別名	: スチレン重合体、エテニルベンゼンホモポリマー
含有量	: 99 %以上
化学式又は構造式	: $(C_8H_8)_x$ (x は重合度)
分子量	: -
官報公示整理番号 (化審法)	: (6)-120
官報公示整理番号 (安衛法)	: 公表
CAS 番号	: 9003-53-6
危険有害成分	: -

4. 応急措置

吸入した場合	: 粉塵や分解ガスなどを吸入した時は、空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。必要な場合、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 粉塵や分解ガスなどが目に入ったときは、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中を洗浄する。気分が悪いときは医師に連絡する。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 散水、二酸化炭素、ドライケミカル粉、耐アルコール、ポリマー泡。
火災時の特有危険有害性	: 一般的な環境下では、着火または引火の危険性はない。 燃焼ガスには一酸化炭素やスチレンモノマーなどが含まれるので、可能な限り風上から消火を行い、吸入しないようにする。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
消火を行う者の保護	: 防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム長靴。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 皮膚、眼および個人の衣服の汚染を防止するため、適切な保護具を着用する。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切

- 環境に対する注意事項 : な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 回収、中和 : 飛散したものは、掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。
局所排気装置を使用すること。
- 局所排気・全体換気 : 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。
作業中は飲食、喫煙をしない。
直接手で触らないようにする。
取扱い後、十分に手を洗浄する。

保管

- 適切な保管条件 : アルミラミネートジップバッグに入れて、密封し、直射日光の当たらない密封された状態で遮光し、15 °Cから 25 °Cの清浄な場所に保存する。
- 安全な容器包装材料 : アルミラミネートジップバッグ

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会はポリスチレンの粉塵に関する許容濃度を定めていないが、次の値を準用するのが妥当と考えられる。

2 mg/m³ (吸入性粉塵)

8 mg/m³ (総粉塵)

・ACGIH TLV-TWA : —

・日本産業衛生学会(2012年)
第三種粉塵 : —

・OSHA PEL TWA : —

設備対策

- 換気・排気 : 粉塵を発生させるような取扱いをする場合には、密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設けることが望ましい。

	高温加工時には空気中に開放される部分でガスが発生するので、快適な作業環境を得るため局所排気等を設けるのが望ましい。
安全管理・ガスの検知	: -
貯蔵上の注意	: 直射日光の当たらない遮光された15℃から25℃の清浄な場所に施錠して保存する。 可燃性及び還元性物質、強酸化剤から離しておく。
保護具	
呼吸器の保護具	: 樹脂製品の機械加工など粉塵の発生する作業の時には、防塵マスクを着用する。 発生ガスを吸入する可能性のある場所で作業する場合は、有機ガス用マスクを着用する。
手の保護具	: 保護手袋。
眼の保護具	: 安全ゴーグル。
皮膚及び身体の保護具	: 保護服（長袖作業衣）、保護長靴、保護服等
衛生対策	産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 固体
色	: 無色透明
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: およそ 240℃
沸点	: データなし
引火点	: 345～360℃
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度（空気 = 1）	: データなし
比重又は嵩比重	: データなし
溶解度	: 水、エーテルに不溶。トルエン、クロロホルム、テトラヒドロフランなどの有機溶媒に易溶。
n-オクタノール／ 水分配係数 log Po/w	: 該当しない
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
燃焼性	: データなし
密度	: 1.05 g/cm ³
発火点	: 427℃

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の貯蔵、取扱いにおいて安定である。
反応性	: 可燃性
危険有害反応性	: データなし

避けるべき条件 : 日光、熱
 混触危険物質 : 強酸化剤
 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、スチレンモノマー等

11. 有害性情報

急性毒性 : データなし
 皮膚腐食性／刺激性 : データなし
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : データなし
 呼吸器感作性 : データなし
 皮膚感作性 : データなし
 生殖細胞変異原性 : データなし
 発がん性 : IARCでは、グループ3(ヒトに対する発がん性について分類できない)と評価されている。
 生殖毒性 : データなし
 授乳に対する影響 : データなし
 特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露) : データなし
 特定標的臓器／全身毒性 (反復暴露) : ポリスチレンをラット飼料中に5%配合し、2年間摂食させたが、影響なし。
 吸引性呼吸器有毒性 : データなし
 本製品は通常の条件下では安定であり、有害な添加剤成分が溶出する等の危険はありませんが、高温下での使用など特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を行ってご使用ください。

12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし
 分解性・濃縮性 : データなし
 生体蓄積性 : データなし
 土壌中への移動性 : データなし
 オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 該当なし
 国連分類 : 該当なし
 品名 : 該当なし

容器等級	: 該当なし
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

15. 適用法令

該当なし

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。
